

# 平成27年度歯学研究科履修要項(授業等時間割)

歯学部研究科大学院生は、下記の履修要項により授業等を履修する。

①、②がある授業に関しては、2つのうちいずれかを履修するものとする。

## 口腔解剖学

教育成果(アウトカム)

ヒトおよび動物からの試料採取、切片作成法、染色法、画像撮影法、三次元再構築法などの基本知識、技能、態度を修得することにより、頭頸部領域のみならず全身のリンパ管系の微小循環構築を明らかにし、リンパ流を利用した薬剤投与経路を開発できる。

到達目標(SBO)

【知識・理解】

- 1 人体および動物の構造と機能を、特に頭頸部領域の微小循環の概略を説明する。
- 2 人体および動物の臓器ごとの組織像を説明する。

【思考・判断】

- 3 脈管の構築から機能や流れの方向を推測する。
- 4 切片の二次元像から三次元像を推測する。
- 5 研究課題から適切な研究手法を選択し、計画を立案する。

【関心・意欲】

- 6 研究課題の方向性を進行状況から変更または増やす。
- 7 研究手法・機材の改良や開発する。

【態度】

- 8 ヒトを対象とした試料を用いることで、研究課題に倫理観を持つ。
- 9 すべての事象に疑問を持ち、分析を行い、結果を考察する習慣を身につける。

【技能・表現】

- 10 人体および動物の肉眼解剖を実施する。
- 11 形態学に必要な基本的研究手法を修得し、研究課題に合わせて取捨選択する。
- 12 立案した研究計画に適宜修正を加えながら研究を遂行する。
- 13 入手した研究結果を正確に考察し、論理的に公表する。

事前学修時間・内容

次回の授業時間を確認し、教科書・レジメ等を用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する予習・復習の時間は最低30分を要する。

成績評価

レポート、論文抄読のディベート、口頭試問および出席にそれぞれ配分した評点を、総合的に評価する。

授業科目	授業コード	単位数	期間	時間	場所	担当者
解剖学特論/脈管学講義	10101	4	通年隔週(15回)	①月曜日8:50~12:00 ②月曜日18:00~21:10	機能形態学分野研究室	藤村教授(8回) 安藤講師(7回)
脈管学/排導系講義	10102	4	通年隔週(15回)	①月曜日8:50~12:00 ②月曜日18:00~21:10	機能形態学分野研究室	藤村教授(8回) 安藤講師(7回)
リンパ学講義・演習	10103	2	通年隔週(15回)	水曜日18:00~19:30	機能形態学分野研究室	藤村教授(8回) 安藤講師(7回)
リンパ学実習	10104	8	毎週1日(4コマ×30週)	火曜日18:00~21:10 木曜日18:00~21:10	機能形態学分野研究室	藤村教授(15回) 安藤講師(15回)
論文・研究ゼミ(含 研究発表会)	10105	2	通年(全15回)	①金曜日10:30~12:00 ②金曜日18:00~19:30	機能形態学分野研究室	藤村教授(8回) 安藤講師(7回)
研究・論文作成指導			4学年通年隔週(15回)	第1, 4土曜日8:30~12:00	機能形態学分野研究室	藤村教授

時限(時間帯)	月		火		水		木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1(8:50~10:20)	10101①											
2(10:30~12:00)	10102①								10105①			
3(13:00~14:30)												
4(14:40~16:10)												
5(18:00~19:30)	10101②		10104		10103		10104		10105②			
6(19:40~21:10)	10102②											

# 口腔組織学

## 教育成果(アウトカム)

大学院講義やセミナーを受講することで、発生学の基本的な概念や歯・顎・顔面の発生・分化ならびに再生医学に関する知識を得ることができ、さらに論文紹介やセミナー発表を行うことで、科学的思考やプレゼンテーションの能力が養われる。また実際の研究を実施する過程で、研究の背景のための情報収集技術、実験ノートの作製方法、実験手法の選択方法、実験手技の習得、結果の考察、再生医療に必要な技術、科学的思考力が習得できる。国際学会に参加したり、国際誌へ論文を発表することで科学のグローバルズムを実感できる。上記の内容を研鑽することによって歯科医師として自立した研究が行えるようになる。

## 到達目標(SBO)

### 【知識・理解】

- 1 歯の発生の上皮間葉相互作用によって形成される分子メカニズムを説明する。
- 2 組織幹細胞の特性やそれらの維持・分化メカニズムを説明する。
- 3 iPS細胞の特性やその取扱方法と、再生医学の理論と実践のために必要な研究手法について説明する。
- 4 歯の発生・再生研究に必要な組織学的・分子生物学的手法、細胞培養・器官培養・移植技術、イメージング技術の利点と欠点を説明する。

### 【思考・判断】

- 5 歯の発生・再生メカニズムを解明するための研究や研究手法について考えることができる。
- 6 歯周組織ならびに歯根の発生・再生メカニズムを解明するための研究や研究手法について具体的に述べる。
- 7 研究結果について論理的解釈を行い、研究全体の中での位置づけについて説明する。

### 【関心・意欲】

- 8 論文や学会で発表された研究内容や手法に興味を持ち、研究課題に意欲的に取り組む。
- 9 学会やセミナー、ミーティングなどの議論に積極的に参加する。
- 10 歯の再生研究手法の改良や他分野からの応用・新規開発に関心を持つ。

### 【態度】

- 11 研究結果から導きだされる新たな課題を整理し真摯に向き合う。
- 12 自分の研究課題を実践するために学術論文から情報を収集する習慣を持つ。
- 13 研究成果を検証するために積極的に議論する。

### 【技能・表現】

- 14 歯の発生メカニズムの解明と、そこから得られた情報を元に再生研究へと展開し、研究を組み立てる。
- 15 形態的な研究手法、細胞培養、分子生物学的手法を適切に選択し、実験計画を立案・実践する。
- 16 研究内容を論理的にまとめ、学会、論文等に系統立てた発表する。

## 事前学修時間・内容

次回の授業時間を確認し、事前に配付された資料・関連論文を用いて予習・準備を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低60分を要する。

## 成績評価

演習結果とそれについての口頭試問、論文抄読および出席点を加味して総合的に評価する。

授業科目	授業コード	単位数	期間	時間	場所	担当者
再生医学特論	10201	2	通年(15回)	①木曜日8:50~10:20 ②水曜日19:40~21:10	発生物・再生医学研究室	原田教授(5回) 藤原准教授(5回) 大津講師(5回)
論文抄読・研究ゼミ	10202	4	通年(30回)	①火曜日8:50~10:20 ②水曜日18:00~19:30	発生物・再生医学研究室	原田教授(10回) 藤原准教授(10回) 大津講師(10回)
組織学・発生学概論	10203	2	通年(15回)	①火曜日10:30~12:00 ②金曜日18:00~19:30	発生物・再生医学研究室	原田教授(5回) 藤原准教授(5回) 大津講師(5回)
組織学・発生学実習(含 研究発表会)	10204	4	2学年通年(30回)	①水曜日8:50~12:00(前期) ①月曜日8:50~12:00(後期) ②火曜日18:00~21:10	発生物・再生医学研究室	原田教授(10回) 藤原准教授(10回) 大津講師(10回)
再生医学実習(含 研究発表会)	10205	8	3学年通年(30回)	①月曜日18:00~21:10 ②金曜日8:50~12:00 ③金曜日13:00~16:10 ④土曜日8:50~12:00	発生物・再生医学研究室	原田教授(20回) 藤原准教授(20回) 大津講師(20回)
論文作成指導			4学年通年(30回)	木曜日18:00~21:10	発生物・再生医学研究室	原田教授 藤原准教授 大津講師

※再生医学実習は①~④の中から2つ選択して履修する。

時限(時間帯)	月		火		水		木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1(8:50~10:20)		10204	10202①		10204		10201①		10205②		10205④	
2(10:30~12:00)		①	10203①		①							
3(13:00~14:30)									10205③			
4(14:40~16:10)												
5(18:00~19:30)		10205①	10204②		10202②				10203②			
6(19:40~21:10)					10201②							

# 口腔生理学

## 教育成果(アウトカム)

末梢および中枢神経系での神経応答記録法、カルシウムイメージング法ならびに脳波、筋電図、fMRIなどの記録法の基本知識、技能及び態度を修得し、論文の書き方を修得することで、生理機能、とりわけ、口腔に関連する味覚・嗅覚、痛覚および咀嚼・嚥下、摂食・飲水行動を研究する。

## 到達目標(SBO)

### 【知識・理解】

- 1 人体の構造と機能を把握し、生理機能ならびに病態生理の概略を説明(理解できる)する。
- 2 生理学、神経科学で用いられる実験手法について説明できる。
- 3 生理学、脳科学分野での研究に関する世界の動向を説明できる。

### 【思考・判断】

- 4 生理学、脳科学分野の中から研究課題を見つけ出す。
- 5 研究手法を適切に選択し、実験計画を立案する(考えることができる)。
- 6 研究課題の重要性、意義を説明できる。

### 【関心・意欲】

- 7 研究手法の改良・新規開発に関心を持っている。
- 8 研究課題に意欲的に取り組むことができる。

### 【態度】

- 9 身近な事象に疑問を抱き、それを分析的、統合的に解釈する習慣をもつ。
- 10 研究課題に倫理感を持って真摯に向き合うことができる。

### 【技能・表現】

- 11 研究手法を適切に選択し、実験計画を作成できる。
- 12 実験計画に基づき、実験を遂行できる。
- 13 研究内容を、論理的かつ分かりやすく発表できる。

## 事前学修時間・内容

次回の授業時間を確認し、教科書・レジメ等を用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する予習・復習の時間は最低30分を要する。

## 成績評価

レポート、口頭試問により評価する。

授業科目	授業コード	単位数	期間	時間	場所	担当者
生理学／病態生理学特論	10301	4	通年(30回)	①月曜日8:50~12:00 ②月曜日18:00~21:10	病態生理学分野研究室	佐原教授(10回) 成田講師(10回) 深見助教(10回)
生理学／病態生理学演習	10302	2	前期(15回)	①木曜日10:30~12:00 ②火曜日18:00~19:30	病態生理学分野研究室	佐原教授(15回)
口腔生理学特論	10303	4	通年(30回)	①水曜日8:50~12:00 ②金曜日18:00~21:10	病態生理学分野研究室	佐原教授(10回) 成田講師(10回) 深見助教(10回)
口腔生理学演習	10304	2	後期(15回)	①木曜日10:30~12:00 ②火曜日19:40~21:10	病態生理学分野研究室	成田講師(8回) 深見助教(7回)
生理学研究実習Ⅰ	10305	4	2学年通年(30回)	①木曜日18:00~21:10 ②土曜日8:30~12:00	病態生理学分野研究室	佐原教授(10回) 成田講師(10回) 深見助教(10回)
生理学研究実習Ⅱ	10306	4	3学年通年(30回)	①金曜日18:00~21:10 ②土曜日8:30~12:00	病態生理学分野研究室	佐原教授(10回) 成田講師(10回) 深見助教(10回)
論文作成指導			4学年通年(20回)	木曜日18:00~21:10	病態生理学分野研究室	佐原教授 成田講師 深見助教

時限(時間帯)	月		火		水		木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1(8:50~10:20)	10301①				10303①						10305② 10306②	
2(10:30~12:00)							10302①	10304①				
3(13:00~14:30)												
4(14:40~16:10)												
5(18:00~19:30)	10301②		10302②				10305①		10303② 10306①			
6(19:40~21:10)				10304②								





# 口腔微生物学

## 教育成果(アウトカム)

口腔疾患の病因と生体防御作用の解明にむけた新規性のある研究を実践することにより、口腔細菌由来ビルレンス因子と宿主生体防御作用に関する細菌学的、免疫学的および分子生物学的知識、研究法が修得できる。

## 到達目標(SBO)

### 【知識・理解】

- 1 口腔細菌由来ビルレンス因子および宿主生体防御作用について理解する。
- 2 口腔疾患の病因と生体防御作用について理解する。
- 3 細菌学的、免疫学的および分子生物学的研究手法について理解する。

### 【思考・判断】

- 4 口腔細菌由来ビルレンス因子と宿主細胞の相互作用の解明にむけた研究・研究手法について考えることができる。
- 5 口腔疾患の病因と生体防御作用解明にむけた研究・研究手法について考えることができる。
- 6 研究結果について論理的解釈を行うことができる。

### 【関心・意欲】

- 7 世界の動向に関心を持ちながら、研究課題に意欲的に取り組むことができる。
- 8 細菌学的、免疫学的および分子生物学的研究手法の改良・新規開発に意欲的に取り組むことができる。

### 【態度】

- 9 研究課題に倫理感を持って真摯に向き合うことができる。
- 10 研究結果から導きだされる新たな課題に向き合うことができる。

### 【技能・表現】

- 11 口腔細菌由来ビルレンス因子および宿主生体防御作用の解明にむけた研究を実践することができる。
- 12 口腔疾患の病因と生体防御作用の解明にむけた研究を実践することができる。
- 13 研究結果を論理的に公表することができる。

## 事前学修時間・内容

次回の授業時間を確認し、教科書・レジメ等を用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する予習・復習の時間は最低30分を要する。

## 成績評価

論文抄読会・研究成果発表会のレポートおよび口頭試問の評価から進捗状況の評価点を算定する。これに出席点を加味し、総合的に判断する。

授業科目	授業コード	単位数	期間	時間	場所	担当者
微生物学／免疫学 特論	10601	4	通年(15回)	①火曜日8:50～12:00 ②火曜日18:00～21:10	分子微生物学分野 研究室	木村教授(7回) 佐々木准教授(8回)
微生物学／免疫学 演習(含 研究発表会)	10602	2	後期(15回)	①金曜日13:00～16:10 ②月曜日18:00～21:10	分子微生物学分野 研究室	下山講師(8回) 石河助教(7回)
口腔微生物学・免疫学 特論	10603	4	通年(15回)	①金曜日8:50～12:00 ②水曜日18:00～21:10	分子微生物学分野 研究室	木村教授(8回) 佐々木准教授(7回)
口腔微生物学・免疫学 演習(含 研究発表会)	10604	2	後期(15回)	①火曜日13:00～16:10 ②金曜日18:00～21:10	分子微生物学分野 研究室	下山講師(7回) 石河助教(8回)
口腔分子微生物学 研究実習	10605	8	3学年通年(30回)	①水曜日8:50～12:00 ②木曜日18:00～21:10	分子微生物学分野 研究室	木村教授(5回) 佐々木准教授(5回) 下山講師(10回) 石河助教(10回)
論文作成指導			4学年通年(20回)	①木曜日18:00～21:10 ②土曜日10:30～12:00	分子微生物学分野 研究室	木村教授・佐々木准教授

時限(時間帯)	月		火		水		木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1(8:50～10:20)			10601①		10605①				10603①			
2(10:30～12:00)												
3(13:00～14:30)				10604						10602		
4(14:40～16:10)				①						①		
5(18:00～19:30)	10602②		10601②		10603②		10605②			10604		
6(19:40～21:10)										②		



## 歯科理工学

### 教育成果(アウトカム)

歯科材料の物性に関する知識を整理して、歯科医療に先進的発展をもたらす材料開発や物性改良に関する研究を行う上での手技・手法を会得する作業を通じて、有能な研究指導者、臨床歯科医となるための素養を身につけることができる。

### 到達目標(SBO)

#### 【知識・理解】

- 1 歯科医療における生体機能の代替材料の種類・特性と、それらの評価・分析方法を説明する。
- 2 歯、骨、周囲組織の力学的特性・応答と歯科治療装置の材料力学的性質を説明する。
- 3 生体に及ぼす材料の影響(毒性、アレルギー性、適合性、骨伝導能、組織再生能)を具体的に述べる。

#### 【思考・判断】

- 4 生体との調和を考慮した口腔機能回復に必要な材料の設計方法を具体的に述べる。
- 5 材料の特性と材料により惹起される生体反応の因果関係を説明する。
- 6 研究遂行に必要な技法、装置を適切に選択する。

#### 【関心・意欲】

- 7 歯科領域以外にも関心に向け、意欲的に研究の幅を広げる。
- 8 材料・技術の研究を通して歯科医療を担う意欲を高める。

#### 【態度】

- 9 研究課題に倫理感を持って真摯に向き合う。
- 10 実験・研究の遂行に対して独自の創意工夫を加える。

#### 【技能・表現】

- 11 研究の立案、実験の計画と遂行、結果の解析と考察の一連のサイクルを実践する。
- 12 実験目的に合致した多様な装置・器具を確実にかつ適切にな操作・取り扱う。
- 13 研究結果を論理的に考察し、研究成果を学会発表および論文著作する。

### 事前学修時間・内容

次の授業時間を確認し、教科書・レジメ等を用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する予習・復習の時間は最低30分を要する。

### 成績評価

レポート、口頭試問による評定に出席点を加味して、総合的に評価する。

授業科目	授業コード	単位数	期間	時間	場所	担当者
歯科生体材料特論	10801	4	通年(15回)	月曜日13:00~16:10	医療工学講座研究室	服部教授(10回) 平准教授(5回)
生体力学特論	10802	2	前期(15回)	①火曜日18:00~19:30 ②金曜日19:40~21:10	医療工学講座研究室	服部教授(10回) 平准教授(5回)
生体と材料特論	10803	2	後期(15回)	①木曜日13:00~14:30 ②金曜日13:00~14:30	医療工学講座研究室	服部教授(10回) 平准教授(5回)
機器分析実習	10804	4	通年(30回)	①水曜日18:00~21:10 ②木曜日18:00~21:10	医療工学講座研究室	服部教授(15回) 平准教授(15回)
論文・研究ゼミ	10805	8	3学年通年(30回)	月曜日18:00~21:10	医療工学講座研究室	服部教授(15回) 平准教授(15回)
研究・論文作成指導			4学年通年(20回)	土曜日 8:50~12:00	医療工学講座研究室	服部教授 平准教授

時限(時間帯)	月		火		水		木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1(8:50~10:20)												
2(10:30~12:00)												
3(13:00~14:30)								10803①		10803②		
4(14:40~16:10)		10801										
5(18:00~19:30)			10802①			10804①		10804②				
6(19:40~21:10)		10805							10802②			



# 予防歯科学(含 高度臨床歯科医育成コース)

教育成果(アウトカム)

リスク管理と健康障害に対応できる検査・診断法、予防処置法および態度を修得するため、口腔疾患予防の理論と方法を理解する。

到達目標(SBO)

【知識・理解】

- 1 予防歯科診療の対象者を医学的、全人的に把握し、理解できる。
- 2 口腔疾患予防の理論と手法について説明できる。
- 3 研究課題に関する世界の動向を説明できる。

【思考・判断】

- 4 ライフステージに応じた予防歯科診療方針を総合的に考えることができる。
- 5 研究手法を適切に選択し、実験計画を考えることができる。
- 6 予防歯科学における研究課題の重要性を説明できる。

【関心・意欲】

- 7 研究手法の改良・新規開発に関心を持っている。
- 8 世界の動向に関心を持ちながら、研究課題に意欲的に取り組むことができる。

【態度】

- 9 口腔保健の支援を要する受診者に寄り添うことができる。
- 10 研究課題に倫理感を持って真摯に向き合うことができる。

【技能・表現】

- 11 予防歯科診療の手技を適切に実践できる。
- 12 予防歯科診療について受診者に分かりやすく説明することができる。
- 13 研究結果について論理的に、分かりやすく発表することができる。

事前学修時間・内容

次回の授業時間を確認し、教科書・レジメ等を用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する予習・復習の時間は最低30分を要する。

成績評価

症例報告、レポートおよび口頭試問で総合的に評価する。

授業科目	授業コード	単位数	期間	時間	場所	担当者
予防歯科学特論	10901	4	通年(15回)	①火曜日8:50~12:00 ②火曜日18:00~21:10	予防歯科学分野医局	稲葉准教授(4回) 岸特任准教授(4回) 阿部特任講師(4回) 南助教(3回)
予防歯科学演習	10902	4	通年(15回)	①火曜日8:50~12:00 ②火曜日18:00~21:10	予防歯科学分野医局	稲葉准教授(4回) 岸特任准教授(4回) 阿部特任講師(4回) 南助教(3回)
研究実習 I	10903	4	2学年通年(30回)	①月曜日8:50~12:00 ②木曜日18:00~21:10	予防歯科学分野医局	岸特任准教授(15回) 阿部特任講師(8回) 南助教(7回)
研究実習 II	10904	4	3学年通年(30回)	①月曜日8:50~12:00 ②木曜日18:00~21:10	予防歯科学分野医局	岸特任准教授(15回) 阿部特任講師(8回) 南助教(7回)
診療実習 I	10905	4	2学年通年(30回)	①水曜日8:50~12:00 ②木曜日13:00~16:10	予防歯科外来診療室	阿部特任講師(15回) 南助教(15回)
診療実習 II	10906	4	3学年通年(30回)	①水曜日8:50~12:00 ②木曜日13:00~16:10	予防歯科外来診療室	阿部特任講師(15回) 南助教(15回)
論文指導			4学年通年(20回)	①金曜日8:50~12:00 ②金曜日18:00~21:10	予防歯科学分野医局	岸特任准教授 阿部特任講師 南助教

時限(時間帯)	月		火		水		木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1(8:50~10:20)	10903①		10901①		10905①							
2(10:30~12:00)	10904①		10902①		10906①							
3(13:00~14:30)							10905②					
4(14:40~16:10)							10906②					
5(18:00~19:30)			10901②				10903②					
6(19:40~21:10)			10902②				10904②					

## 歯周療法学(含 高度臨床歯科医育成コース)

### 教育成果(アウトカム)

歯周療法学の基礎となる理論や方法を理解し、基本的かつ先端的な知識、診査、診断、治療等の技能および態度を修得することで、歯周領域における歯科医療の指導的役割を担う人材に到達する。

### 到達目標(SBO)

#### 【知識・理解】

- 1 歯周病患者を医学的、全人的に把握し、理解する。
- 2 歯周病の治療法について説明する。
- 3 研究課題に関する世界の動向を説明する。

#### 【思考・判断】

- 4 歯周病態に応じた適切な歯周病治療方針を総合的に立案する。
- 5 歯周病態に応じた対応法を総合的に判断する。
- 6 歯周疾患における研究課題の重要性を説明する。

#### 【関心・意欲】

- 7 歯周疾患に罹患した患者に関心を持つ。
- 8 研究課題に意欲的に取り組む。

#### 【態度】

- 9 歯周病罹患患者の不安な気持ちを理解し、適切に対応する。
- 10 研究課題に倫理感を持って真摯に向き合う。

#### 【技能・表現】

- 11 歯周病治療の手技を適切に実践する。
- 12 歯周病診療について患者に分かりやすく説明する。
- 13 研究結果について論理的に、分かりやすく発表する。

### 事前学修時間・内容

次回の授業時間を確認し、教科書・レジメ等を用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する予習・復習の時間は最低30分を要する。

### 成績評価

レポート提出、論文抄読・研究成果発表、口頭試問、出席状況などを加味し、総合的に評価する。

授業科目	授業コード	単位数	期間	時間	場所	担当者
歯周治療学特論	11001	4	通年(15回)	①月曜日8:50~12:00 ②月曜日18:00~21:10	歯周療法学分野研究室	八重柏教授(15回)
歯周治療学演習	11002	4	通年(15回)	①火曜日8:50~12:00 ②火曜日18:00~21:10	歯周療法学分野研究室	八重柏教授(15回)
研究実習 I	11003	4	2学年通年(30回)	①木曜日8:50~12:00 ②金曜日18:00~21:10	歯周療法学分野研究室	八重柏教授(15回) 佐々木講師(15回)
研究実習 II	11004	4	3学年通年(30回)	①金曜日8:50~12:00 ②木曜日18:00~21:10	歯周療法学分野研究室	八重柏教授(15回) 伊東助教(15回)
診療実習 I	11005	4	2学年通年(30回)	①水曜日8:50~12:00 ②火曜日13:00~16:10	歯周病外来診療室	伊東助教(15回) 佐々木講師(15回)
診療実習 II	11006	4	3学年通年(30回)	①水曜日8:50~12:00 ②火曜日13:00~16:10	歯周病外来診療室	八重柏教授(30回)
論文作成指導			4学年通年(20回)	①金曜日8:50~12:00 ②金曜日18:00~21:10	歯周療法学分野研究室	八重柏教授

時限(時間帯)	月		火		水		木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1(8:50~10:20)	11001①		11002①		11005①	11006①	11003①		11004①			
2(10:30~12:00)												
3(13:00~14:30)			11005②									
4(14:40~16:10)			11006②									
5(18:00~19:30)	11001②		11002②				11004②		11003②			
6(19:40~21:10)												





## 補綴・インプラント学(含 高度臨床歯科医育成コース)

### 教育成果(アウトカム)

歯の欠損の回復および咬合再構成に関する知識・技術・態度を修得することにより、高度な補綴歯科治療ができる歯科医師となるための知識および技術基盤が改正される。

### 到達目標(SBO)

#### 【知識・理解】

- 1 歯科補綴一般(義歯、冠橋義歯、インプラント)について説明する(把握し、理解できる)。
- 2 選択分野(義歯系、冠橋義歯系、インプラント系)について説明する(関する深い知識を得ている)。
- 3 研究課題に関する世界の動向を説明する。

#### 【思考・判断】

- 4 口腔内状況に応じたトリートメントプランを作成する。
- 5 患者の全身状態に応じた対応等を考える。
- 6 歯科補綴における研究課題の重要性を説明する。

#### 【関心・意欲】

- 7 補綴学に興味を持つ。
- 8 研究課題に意欲的に取り組む。

#### 【態度】

- 9 補綴学に真摯に取り組む。
- 10 研究課題に意欲的に取り組む。

#### 【技能・表現】

- 11 歯科補綴手技を実践する。
- 12 患者に分かりやすく説明する。
- 13 抄読会、および学会などで論理的にわかりやすく発表する。

### 事前学修時間・内容

次回の授業時間を確認し、教科書・レジメ等を用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する予習・復習の時間は最低30分を要する。

### 成績評価

欠損補綴の診断・治療に関する基本的知識・臨床技能の評価、症例報告、レポート、口頭試問および出席さらに専門学会への参加状況にそれぞれ評点を付し、総合的に評価する。

授業科目	授業コード	単位数	期間	時間	場所	担当者
診断学	11301	2	通年隔週(15回)	火曜日18:00~19:30	補綴外来	小林特任准教授(15回)
診断学演習	11302	2	通年隔週(15回)	木曜日18:00~19:30	補綴外来	小林特任准教授(15回)
治療学	11303	2	通年隔週(15回)	火曜日19:40~21:10	補綴外来	金村特任准教授(15回)
治療学演習	11304	2	通年隔週(15回)	木曜日19:40~21:10	補綴外来	金村特任准教授(15回)
論文・研究ゼミ(抄読会)	11305	4	通年毎週(60回)	(特別時間枠) 火曜日8:00~9:00 水曜日8:00~9:00	5階会議室	鬼原准教授(60回)
症例演習	11306	4	通年(30回)	木曜日18:00~19:30	4階第1講義室	鬼原准教授(60回)
診療実習 演習試験	11307	4	通年(30回)	月曜日18:00~21:10	3階実習室	鬼原准教授(30回)
論文指導			通年	不定期(人数が多いため不定期)	不定期	近藤教授

時限(時間帯)	月		火		水		木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
			11305		11305							
1(8:50~10:20)												
2(10:30~12:00)												
3(13:00~14:30)												
4(14:40~16:10)												
5(18:00~19:30)			11301				11302、11306					
6(19:40~21:10)			11303				11304					





# 歯科放射線学(含 高度臨床歯科医育成コース)

## 教育成果(アウトカム)

放射線の物理的な性質と生物学的影響および放射線防護に関する高度の知識・技能を習得し、放射線を有効かつ安全に扱うことができるようになる。様々なモダリティによる複合的な画像診断を学習することで、患者の病態把握能力を養い、口腔領域に発生する疾患の鑑別診断ができるようになる。口腔癌に対する放射線治療を修得し、口腔領域の悪性腫瘍の放射線治療および治療患者の口腔管理ができるようになる。

## 到達目標(SBO)

### 【知識・理解】

- 1 各種画像検査法の概略を説明できる。
- 2 放射線の人体に対する影響を説明できる。
- 3 研究課題に関する世界的な動向を説明できる。

### 【思考・判断】

- 4 口腔領域における疾患とその画像所見を述べる。
- 5 口腔癌の放射線治療計画を立案できる。
- 6 研究課題について、その医学的背景と関連するニーズについて説明できる。

### 【関心・意欲】

- 7 画像診断および放射線治療に関心を持っている。
- 8 研究課題に意欲的に取り組むことができる。

### 【態度】

- 9 臨床経験に基づいた研究者としての倫理に配慮できる。
- 10 自立した研究者として、学会での発表者および論文の著者としての責任感を有する。

### 【技能・表現】

- 11 各種画像診断法を選択し、その画像所見を記述できる。
- 12 自らの研究成果を客観的に分析し、目的と背景・研究方法・結果・考察、さらに今後の発展の可能性について発表し討議することができる。
- 13 自らの研究成果について、国際的に通用する論文の形態で発表することができる。

## 事前学修時間・内容

次回の授業時間を確認し、教科書・レジメ等を用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する予習・復習の時間は最低30分を要する。

## 成績評価

レポート提出、論文抄読会、研究成果発表、口頭試問、出席状況などを加味し、総合的に評価する。

授業科目	授業コード	単位数	期間	時間	場所	担当者
診断学	11601	4	通年隔週(15回)	火曜日18:00~19:30、19:40~21:10	歯科放射線学分野医局	小豆嶋教授(8回) 泉澤講師(7回)
診断学演習	11602	4	通年隔週(15回)	月曜日8:50~10:20、10:30~12:00	画像診断室	小豆嶋教授(8回) 泉澤講師(7回)
治療学	11603	2	通年隔週(15回)	①木曜日8:50~10:20 ②木曜日18:00~19:30	歯科放射線学分野医局	東海林講師(15回)
治療学演習	11604	2	通年隔週(15回)	①木曜日10:30~12:00 ②木曜日19:40~21:10	放射線治療計画室	東海林講師(15回)
論文・研究ゼミ(抄読会)	11605	2	通年隔週(15回)	月曜日18:00~19:30	歯科放射線学分野医局	小豆嶋教授(15回)
症例演習	11606	4	通年隔週(15回)	①水曜日8:50~10:20、10:30~12:00 ②水曜日18:00~19:30、19:40~21:10	画像診断室	東海林講師(8回) 泉澤講師(7回)
診療実習	11607	2	通年隔週(15回)	金曜日8:50~10:20、10:30~12:00	画像診断室	東海林講師(8回) 泉澤講師(7回)
論文指導			4学年通年隔週(15回)	金曜日18:00~19:30	歯科放射線学分野医局	小豆嶋教授(15回)

時限(時間帯)	月		火		水		木		金		土	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1(8:50~10:20)	11602				11606①		11603①		11607			
2(10:30~12:00)	11602				11606①		11604①		11607			
3(13:00~14:30)												
4(14:40~16:10)												
5(18:00~19:30)	11605		11601		11606①		11603②					
6(19:40~21:10)			11601		11606②		11604②					







## 平成27年度大学院共通教育プログラム

### 教育成果（アウトカム）

生命科学研究における体系的な知識や研究能力を習得することで、各専攻領域に共通する幅広い素養や自主性、知識・技術を学ぶことができる。

単位数 3単位 第1学年（必修）、第2、3、4学年

※1年次に履修できない講義は、2年次以降に履修するものとする。

### 講義・演習日程

日時・場所	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月10日(金) 18:15～19:45 4階 第1講義室	三浦教授 (歯学研究科長)	<b>オリエンテーション</b>	大学院共通教育プログラムの主旨および単位取得法が理解できる。
4月13日(月) 18:15～19:45 4階 第1講義室	木村教授 (研究費不正防止委員・微生物学講座分子微生物学分野)	<b>研究者としての倫理</b>  研究を行うにあたって必要な適正な研究費使用上の倫理について理解し、その利用法についても習得する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究費使用上の倫理を説明できる。</li> <li>2. 研究費の種類を挙げることができる。</li> <li>3. 試薬等必需品の発注伝票を作成できる。</li> <li>4. 実験で使用した廃棄物を適正に処理できる。</li> </ol>
4月14日(火) 17:15～18:45 4階 第1講義室	水城教授 (歯学部倫理委員会委員長・口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野)	<b>承認が必要な実験と研究共同施設（1）</b>  歯科医学研究における倫理規範を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科医学研究における倫理について概説できる。</li> <li>2. 歯科医学研究において遵守すべき倫理規範について概説できる。</li> <li>3. 研究承認申請書を作成できる。</li> <li>4. 申請手続きについて概説できる。</li> </ol>
4月15日(水) 18:15～19:45 4階 第1講義室	加藤教授 (実験動物委員会委員・薬理学講座病態制御学分野) 花木准教授 (動物研究センター長)	<b>承認が必要な実験と研究共同施設（2）</b>  動物実験を開始するために必要な基本的事項を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 適切な実験動物の取扱いができる。</li> <li>2. 動物愛護の基本を説明できる。</li> <li>3. 動物実験計画書を作成できる。</li> <li>4. 動物実験施設の利用ができる。</li> </ol>
4月17日(金) 18:15～19:45 4階 第1講義室	石崎教授  (生化学講座細胞情報科学分野)	<b>承認が必要な実験と研究共同施設（3）</b>  組換え DNA 実験に関する知識を得る。実験計画申請書の作成法を習得する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組換え DNA 実験に相当する実験を判別できる。</li> <li>2. 機関承認実験（微生物使用組換え実験、組換え動物作成実験等）において執るべき拡散防止措置ならびに必要な施設と実験設備について概説できる。</li> <li>3. 組換え DNA 実験の種類に応じて適切な実験計画申請書を作成できる。</li> </ol>

コマ数	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月20日(月) 18:15~19:45 4月22日(水) 18:15~19:45 4月24日(金) 18:15~19:45 4月27日(月) 18:15~19:45 <b>4階 第1講義室</b>	江尻教授 ※4/20、4/22 担当 飯田講師 ※4/24、4/27 担当  (教養教育センター 情報科学 数学分野)	<b>医学統計の基礎</b>  合理的な実験方法をデザインし、結果を適切に解析する方法を理解する。	1. 実験計画法の目的を説明できる。 2. 統計学的判定の考え方を説明できる。 3. 平均の推定と検定を実行できる。 4. 分散分析について説明できる。 5. 一元配置分散分析を実行できる。 6. Excel による表・統計計算ができる。
4月21日(火) 18:50~20:20 <b>矢巾キャンパス西研究棟 解剖学セミナー室</b>	原田教授 (解剖学講座 発生生物・再生 医学分野)	<b>承認が必要な実験と研究 共同施設(4)</b>  岩手医科大学共同研究施設の概略と利用法について理解する。	1. 医歯薬総合研究所, バイオイメージングセンター, MRI 研究施設等の共同研究施設の概略について説明できる。 2. 利用登録手続きを含めた岩手医科大学共同研究施設の利用法について説明できる。
5月8日(金) 18:15~19:45 5月11日(月) 18:15~19:45 <b>4階 第1講義室</b>	平林教授 (教養教育センター 人間科学 文学分野)	<b>プレゼンテーション技法 (1)</b>  日本語によるプレゼンテーションの技法について理解する。	1. 正しい日本語を使ったわかりやすい情報伝達をすることができる。 2. 日本語の階層構造を理解し、シンプルで論理的なプレゼンテーションを行うことができる。 3. 要点を簡潔に、かつ説得力あるかたちで伝えることができる。
5月13日(水) 18:15~19:45 5月15日(金) 18:15~19:45 5月18日(月) 18:15~19:45 <b>4階 第1講義室</b>	遠藤教授 (教養教育センター 人間科学 哲学分野)	<b>プレゼンテーション技法 (2)</b>  論文・発表原稿作成/議論・討議に必要な論理的思考を修得する。	1. 論理的な思考とは何かを説明できる。 2. 説得力のある文書作成・議論の型を説明できる。 3. 1・2を踏まえ、自分の意見を、わかりやすく表現できる。
5月20日(水) 18:15~19:45 <b>4階 第1講義室</b>	藤村教授  (解剖学講座 機能形態学 分野)  小豆嶋教授 (口腔顎顔面再 建学講座歯科 放射線学分野)	<b>プレゼンテーション技法 (3)</b>  効果的なプレゼンテーションをするために、PC を用いた画像処理の知識と技能を修得する。	1. 画像ファイルの拡張子を列記する。 2. 画像階調度と画素を定義する。 3. PhotoShop(-element)を用いて以下の処理を実行する。 ・画像データを適切な画像階調度および画像サイズに変換する。 ・基画像にいくつかのレイヤーを重ねる。 4. Windows 用 dicom viewer[i-View]、あるいは Mac 用 dicom viewer[OsiriX]を用いて、コーンビーム CT データから MPR (多平面再構築画像) 処理を行う。

コマ数	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月22日(金) 18:15~19:45 4階 第1講義室	武田教授  (岩手医科大学 歯学会雑誌編 集委員長・病理 学講座病態解 析学分野)	<b>学術雑誌への投稿</b>  学術論文に関する専門的 知識を習得する。 岩手医科大学歯学雑誌を 例にして学術論文の作 成・投稿までの過程を理 解する。	1. 総説・原著・症例報告の違いを説明できる。 2. 学術論文の倫理規定を説明できる。 3. 論文の構成を説明できる。 4. 投稿規定に沿った論文の書き方を説明で きる。 5. 機関リポジトリについて説明できる。
5月25日(月) 18:15~19:45 4階 第1講義室	佐原教授 (図書委員・生 理学講座病態 生理学学分野)  川崎事務員 (図書館検索 実習担当)	<b>文献検索法</b>  研究を遂行するために必 要な文献を検索し、入手 するための技能を習得す る。	1. 学内 LAN 経由で Pub Med などの文献検索シ ステムにアクセスし、医学文献を検索でき る。 2. 検索から得られた洋雑誌を図書館で探し、 必要な文献をコピーできる。 3. 学外文献のコピー依頼を図書館に申込み できる。 4. 学内 LAN を利用して電子ジャーナルにア クセスし、文献をダウンロードできる。
10月6日(火) 17:15~18:45 4階 第1講義室	佐々木教授 (リエゾンセ ンター長・医歯 薬総合研究所 超高磁場MRI診 断・病態研究部 門)	<b>トランスレーショナルリ サーチ概論</b>  トランスレーショナルリ サーチ(TR)に関する基礎 知識を理解する。	1. トランスレーショナルリサーチ(TR)の概 要を説明できる。 2. レギュラトリーサイエンスの概要につい て説明できる。 3. 産学連携、医工連携の意義について説明 できる。
4月16日(木) 18:50~20:20 矢巾キャンパ ス西研究棟 解剖学セミナ ー室	原田教授 (解剖学講座 発生生物・再生 医学分野)	<b>承認が必要な実験と研究 共同施設(3)</b>  岩手医科大学共同研究施 設の概略と利用法につい て理解する。	1. 医歯薬総合研究所, バイオイメージングセ ンター, MRI 研究施設等の共同研究施設の 概略について説明できる。 2. 利用登録手続を含めた岩手医科大学共同 研究施設の利用法について説明できる。

講義・演習日程

研究手法の概略（選択制）について

次の5つのコースから必ず1コースを履修しなければならない。

- 1、細胞再生系コース      2、細胞形態学コース      3、遺伝子解析コース  
4、生理学コース              5、材料学コース

コマ数	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月16日(木) 18:50~20:20 4月23日(木) 18:50~20:20 4月28日(火) 18:50~20:20 4月30日(木) 18:50~20:20 ※会場:矢巾 キャンパス	原田教授 藤原准教授 大津助教 (解剖学講座 発生生物・再生 医学分野)  佐々木准教授 (微生物学講 座分子微生物 学分野)	<b>研究手法の概略 (細胞再生系コース)</b>  細胞培養を使った機能的な実験系が立案でき、簡単な培養法を習熟する。	1. 細胞培養法を用いた研究方法の利点、欠点が理解できる。 2. 細胞の培養法の概略が理解できる。 3. 細胞の観察法が理解でき、実践できる。 4. 細胞の継代、保存、解凍ができる。 5. 組織から細胞を分離して培養できる。
4月21日(火) 18:50~20:20 4月23日(木) 18:50~20:20 4月28日(火) 18:50~20:20 4月30日(木) 18:50~20:20 ※会場:矢巾 キャンパス	平准教授 (医療工学講座)	<b>研究手法の概略 (材料学コース)</b>  材料表面の化学構造・分子情報を解析する機器分析の原理と使い方の基本、応用事例を学ぶとともに、修復材料と歯質の強度を評価するための材料試験の具体的方法、試料条件、試験条件、評価の仕方を学ぶ。	1. X線光電子分析装置の原理を説明し、スペクトルから表面化学構造を読むことができる。 2. フーリエ変換赤外分光々度計の原理を説明し、スペクトルから分子情報を説明することができる。 3. 材料試験機の具体的使用方法を説明できる。 4. 材料試験から応力-ひずみ曲線を描き、弾性率やレジリエンス等の強度物性を算出できる。
4月21日(火) 18:50~20:20 4月23日(木) 18:50~20:20 4月28日(火) 18:50~20:20 ※会場:矢巾 キャンパス	武田教授 三上准教授 佐藤講師 (病理学講座病 態解析学分野)	<b>研究手法の概略 (細胞形態学コース)</b>  1. 形態研究の意義を理解する。 2. 基本的な組織標本の作製法を知る。 3. 免疫染色の必要性を理解する。	1. 細胞形態やその変化が病態を反映していることを解釈できる。 2. 検体の扱いを説明できる。 3. 一般的な顕微鏡標本の作製過程を説明できる。 4. 光顕および電顕的検索の必要性を説明できる。 5. 免疫染色の原理理解し、実施できる。

コマ数	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月12日(火) 18:50~20:20 5月14日(木) 18:50~20:20 5月19日(火) 18:50~20:20 5月21日(木) 18:50~20:20	木村教授 佐々木准教授 下山助教 石河助教 (微生物学講座 分子微生物学 分野)  帖佐特任講師 (生化学講座細 胞情報科学分 野) 田村講師 (薬理学講座 病態制御学分 野)	<b>研究手法の概略 (遺伝子解析コース)</b>  遺伝子解析法をはじめとする最新の分子生物学的研究手技/手法を体得するとともに、その歯科医学研究への応用法を理解する。	1. 培養細胞および生体組織試料から RNA を抽出し、RT-PCR, real-time PCR により、標的タンパク質発現を解析できる。 2. 大腸菌発現系より、プラスミドの抽出、PCR の後、DNA シーケンサーを用いて標的 DNA の塩基配列を解析できる。 3. ヒト/実験動物からのプラークサンプルを採取し、PCR により遺伝子解析できる。 4. 最新の分子生物学的研究手技/手法の歯科医学研究への応用法について説明できる。
※会場: 矢巾 キャンパス			
5月12日(火) 18:50~20:20 5月14日(木) 18:50~20:20 5月19日(火) 18:50~20:20 5月21日(木) 18:50~20:20	佐原教授 成田講師 深見助教 (生理学講座病 態生理学分野)	<b>研究手法の概略 (生理学コース)</b>  生体の興奮性組織から電気現象を記録できる。	1. 興奮性組織の性質を説明できる。 2. 脳波、筋電図、心電図、細胞外記録、細胞内記録、単一チャンネル記録などの電気現象記録の原理を説明できる。 3. 記録した電気現象の説明ができる。
※会場: 矢巾 キャンパス			

会場 矢巾キャンパス

細胞再生系コース：解剖学講座発生生物・再生医学分野研究室

細胞形態学コース：病理学講座病態解析学分野研究室

遺伝子解析コース：微生物学講座分子微生物学分野研究室

生理学コース：生理学講座病態生理学分野研究室

材料学コース：医療工学講座研究室

#### 単位認定方法

観察記録・提出物・出席を考慮し、主科目の担当教授により評価する。

# 平成27年度大学院共通教育特論

## 教育成果（アウトカム）

生命科学研究における体系的な知識や研究能力を習得することで、各専攻領域に共通する幅広い素養や自主性、知識・技術を学ぶことができる。

単位数 2単位 第2、3学年（必修）

※共通教育特論において修得した単位は、主科目における必要単位数（20単位）に含めるものとする。

※原則として全講義出席するものとし、学会等による欠席の場合は別紙報告書を提出すること。（15回以上の出席で単位認定とする。）

## 事前学修時間・内容

次の授業時間を確認し、教科書・レジメ等を用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する予習・復習の時間は最低30分を要する。

### I. 先端歯科医療セミナー

日程・場所	担当者	ユニット名
4月21日(火) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…4F 会議室 (TV 会議)	三上准教授 (病態解析学分野) 水城教授 (口腔外科学分野)	癌および前癌病変をめぐって
5月19日(火) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…4F 会議室 (TV 会議)	野田教授 (う蝕治療学分野)	高齢者・有病者歯科医療の動向
6月23日(火) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…4F 会議室 (TV 会議)	鬼原准教授 (補綴・インプラント学講座) 平准教授 (医療工学講座)	インプラントをめぐって
7月23日(木) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…4F 会議室 (TV 会議)	間山特任講師 (歯科矯正学分野) 大津講師 (発生生物・再生医学分野)	歯の発生と再生医療研究の動向
8月27日(木) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…4F 会議室 (TV 会議)	熊谷特任講師 (小児歯科学・障害者歯科学分野) 岸特任准教授 (予防歯科学分野)	災害医療とコホート研究の進展
9月17日(木) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…4F 会議室 (TV 会議)	木村教授 (分子微生物学分野)	大学院学生セミナー (小松祐子、畠山慧)
10月22日(木) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…循環器 10F 同窓会室 (TV 会議)	田中教授 (小児歯科学・障害者歯科学 分野)	大学院学生セミナー (樋野雅文、五十嵐靖之)
11月19日(木) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…4F 会議室 (TV 会議)	佐原教授 (病態生理学分野)	大学院学生セミナー (守口 霞)
12月22日(火) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…4F 会議室 (TV 会議)	東海林講師 (歯科放射線学 分野) 深見助教 (病態生理学分野)	PET CT MRI 研究の最前線



日程・場所	担当者	ユニット名
1月21日(木) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…4F 会議室 (TV 会議)	丸谷講師 (小児歯科学・障害者歯科学分野) 加茂准教授 (細胞情報科学分野)	間葉系細胞研究の展開
2月16日(火) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…4階会議室 (TV 会議)	田村講師 (歯科薬理学分野) 佐藤健一特任准教授 (歯科麻酔学分野)	未定
3月15日(火) 18:30~20:00 矢巾…小会議室 内丸…4階会議室 (TV 会議)	村井助教(歯周療法学分野) 久慈准教授(小児歯科学・障害者歯科学分野)	障害者の口腔ケアの最前線

## II. 特別セミナー

日程・場所	担当者	ユニット名
5月26日(火) 18:00~19:30 内丸キャンパス 歯学部4階 第1講義室	道脇幸博 (武蔵野赤十字病院 特殊歯科・口腔外科 部長)	嚥下運動のシミュレーションと嚥下障害
7月21日(火) 18:00~19:30 内丸キャンパス 歯学部4階 第2講義室	敦賀 英知 (弘前大学大学院 医療生命科学領域病態会解析学分野)  須田 直人 (明海大学歯学部 形態機能育成学講座教授)  福島 明宗 (臨床遺伝学科)  野田守 (う蝕治療学分野)	マルファン症候群と口腔疾患
9月15日(火) 18:00~19:30 内丸キャンパス 歯学部4階 第1講義室	角保徳客員教授(国立長寿医療センター歯科口腔先進医療開発センター歯科口腔先端診療開発部部長)	光技術を用いた新たな歯科治療法(OCT)の展開

### Ⅲ. テクニカルライティング/演習

日程・場所	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月6日(火) 10月13日(木) 10月20日(木) 18:00~19:30 内丸キャンパス 歯学部4階 第2講義室	平林香織教授 (教養教育センター 人 間科学科 文学分野)	論文を書く(日本語)  論文・発表原稿作成/議 論・討議に必要な論理 的思考ならびにその表 現法を修得する。	①科学論文の日本語リテラシー を理解し、研究の目的・方法・結 論をわかりやすく説明すること ができる。 ②科学論文のフレームワークを 理解し、論文のアウトラインを日 本語で作成することができる。 ③科学論文の日本語による抄録 を論理的に作成することができる。
11月5日(木) 11月12日(木) 11月26日(木) 18:00~19:30 内丸キャンパス 歯学部4階 第2講義室	柳谷千枝子 助教 (教養教育センター 外 国語学科 英語分野)	論文を書く(英語)  論文・発表原稿作成/議 論・討議に必要な論理 的思考ならびにその表 現法を修得する。	①アカデミック・ライティングで 使用する専門用語・表現、 punctuation、接続詞、副詞を理 解し、実際に応用することができ る。 ②科学論文を通してその構造を 理解し、論文のアウトラインを英 語で作成することができる。 ③科学論文のアブストラクトを 英語で作成することができる。
12月3日(木) 12月10日(木) 12月17日(木) 18:00~19:30 内丸キャンパス 歯学部4階 第2講義室	グッドウィン ジョナサ ン アラン	テクニカルライティン グ(英文)  論文・発表原稿作成に 必要な表現法を修得す る。	①科学論文のアブストラクトを 英語で作成することができる。 ②科学論文を英語で作成するこ とができる。

#### 単位認定方法

観察記録・提出物・出席を考慮し、主科目の担当教授により評価する。

# 健康長寿社会の実現に貢献する歯科医療人養成のための教育プログラム

## (入院時・災害時のベッドサイドにおける食支援と口腔ケア実習)

### 教育成果（アウトカム）

入院時・災害時のベッドサイドにおける歯科医療、栄養サポート・緩和ケア・リハビリテーションにおける歯科医療の実際を学ぶことにより、超高齢社会における歯科医師の役割と責任を理解する。

単位数 2単位または3単位 第2、3学年（選択制）

※本プログラムにおいて修得した単位は、主科目における必要単位数（20単位）に含めるものとする。

### 事前学修時間・内容

今回の授業時間を確認し、教科書・レジメ等を用いて予習・復習を行うこと。各授業に対する予習・復習の時間は最低30分を要する。

次の3つの実習コースのうち2つ以上を選択して履修する。

- 1、栄養サポートチーム（NST）・緩和ケア実習
- 2、摂食嚥下リハビリテーション・口腔ケア実習
- 3、被災地口腔ケア・食支援実習

### 実習日程1

日程及び会場	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月7日(火) 16:00～17:30	遠藤龍人特任 准教授	NST・緩和ケア実習  栄養サポートチーム・緩和 ケアチームにおける多職 種連携医療と歯科的対応 を学ぶ。	1. NST を構成する専門職種とそれぞれの役 割を列挙する。 2. 医療における栄養管理の重要性を概説す る。 3. 栄養管理における経口摂取能力管理の重 要性を説明する。 4. NST における歯科的対応を説明する。 5. 多職種連携による栄養管理計画の立案に 参与する。 6. 緩和ケアチームの機能と役割を概説す る。 7. 緩和ケアチームを構成する専門職種と それぞれの役割を列挙する。 8. 緩和ケアチームにおける歯科医師の役 割を説明する。。
4月21日(火) 16:00～17:30	木村祐輔特任 教授		
5月12日(火) 16:00～17:30	玉田泰嗣助教 佐藤友秀助教		
5月26日(火) 16:00～17:30	阿部晶子講師 近藤尚知教授		
6月9日(火) 16:00～17:30			
6月23日(火) 16:00～17:30			
7月7日(火) 16:00～17:30			
7月21日(火) 16:00～17:30			
9月1日(火) 16:00～17:30			
9月15日(火) 16:00～17:30			
9月29日(火) 16:00～17:30			
10月13日(火) 16:00～17:30			
10月27日(火) 16:00～17:30			
11月10日(火) 16:00～17:30			
11月24日(火) 16:00～17:30			

(前ページからの続き)  12月8日(火) 16:00~17:30 12月22日(火) 16:00~17:30 1月5日(火) 16:00~17:30 1月19日(火) 16:00~17:30 2月2日(火) 16:00~17:30  ※会場: NST カンファ レンス室 緩和ケアカン ファレンス室	(前ページからの続き)	(前ページからの続き)	(前ページからの続き)
---	-------------	-------------	-------------

## 実習日程2

日程及び会場	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月7日(火) 13:00~14:30 4月21日(火) 13:00~14:30 5月12日(火) 13:00~14:30 5月26日(火) 13:00~14:30 6月9日(火) 13:00~14:30 6月23日(火) 13:00~14:30 7月7日(火) 13:00~14:30 7月21日(火) 13:00~14:30 9月1日(火) 13:00~14:30 9月15日(火) 13:00~14:30 9月29日(火) 13:00~14:30 10月13日(火) 13:00~14:30 10月27日(火) 13:00~14:30 11月10日(火) 13:00~14:30 11月24日(火) 13:00~14:30 12月8日(火) 13:00~14:30 12月22日(火) 13:00~14:30	玉田泰嗣助教 佐藤友秀助教 原 淳助教 小林琢也 特任 准教授 近藤尚知教授 阿部晶子講師	<b>摂食嚥下リハビリテーション・口腔ケア実習</b>  摂食嚥下リハビリテーションに必要な知識と技術を学び、多職種連携医療の重要性を理解する。	1. 摂食嚥下のメカニズムを概説する。 2. 摂食嚥下障害の原因と症状を列挙する。 3. 摂食嚥下障害のスクリーニングテストを行う。 4. 嚥下造影検査と嚥下内視鏡検査の目的と手順を概説する。 5. 多職種連携によるリハビリテーション計画の立案に参加する。 6. 間接訓練と直接訓練の目的と方法を概説する。 7. 栄養管理における口腔リハビリテーションの意義を概説する。 8. 口腔機能管理のための歯科補綴的対応と口腔衛生管理を行う。 9. インプラント関連補綴装置の口腔ケアの方法を説明できる。

<p>(前ページからの続き)</p> <p>1月5日(火) 13:00～14:30 1月19日(火) 13:00～14:30 2月2日(火) 13:00～14:30</p> <p>※会場:口腔リハビリ外来・口腔ケア外来</p>	<p>(前ページからの続き)</p>	<p>(前ページからの続き)</p>	<p>(前ページからの続き)</p>
---	--------------------	--------------------	--------------------

### 実習日程3

日程及び会場	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
<p>日程は後日通知する</p> <p>※会場:岩手県沿岸部東日本大震災被災地</p>	<p>城茂治教授 石崎明教授 岸光男特任准教授 近藤尚知教授 小林琢也特任准教授</p>	<p><b>被災地口腔ケア・食支援実習</b></p> <p>1. 被災地の歯科保健医療のニーズを理解する。</p>	<p>1. 被災地の現状（復興状況、歯科保健・医療供給体制など）を知る。</p> <p>2. 被災直後の歯科医師に対するニーズを列挙する。</p> <p>3. 復興段階での被災地の歯科保健・医療のニーズを列挙する。</p> <p>4. 被災直後の歯科的介入について検証する。</p> <p>5. 復興段階での歯科的介入を検討する。</p>

### 成績評価方法

提出物・出席を考慮し、各コースの担当教授により評価する。